

(別紙5)

補助事業番号 28-2-015  
補助事業名 平成28年度障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業  
補助事業者名 一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

① 障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

指導誌は、「防災、減災の取り組み」で具体的にどのようなことを備えたらよいのか実例を挙げわかりやすくまとめ、一般の方々にもわかり易く掲載し研修会や勉強会に広く活用された。また、配布したところ以外からも反響があり増刷した。防災、減災についての意識の高さが伺えた。

機関誌は、パソコンスキルが高くないと思われる高齢者層にも手軽に障害者福祉情報を入手できるツールとしてのニーズが高く、特に本年度は防災、減災の取り組みの最新情報を掲載した。

② 障害児者と家族、支援者の地域交流と療育訓練事業

障害児者は、歩行や座位の訓練だけでなく、集団生活を体験することで社会性や社会的自立心の向上を図る。保護者には、医師及び学識経験者、専門指導員等により訓練方法や生活指導を通じて、日常生活における療育や訓練方法を習得する。また、障害当事者と家族、支援者（ボランティア）相互の交流・情報交換を図る。

③ 地域の強化を図るための地域指導者育成セミナー〈1泊2日〉

近年、自然災害が増えてきており「防災、減災の取り組み」について話題になっている。障害がある人たちの多くは避難所に行くことが困難である。この講演を通して具体的にどのような対策をしたらよいのか、同じ境遇を持つ人たちの現状の取り組みはどうしているのか話し合いながら防災、減災について具体的な例を含めわかり易く解説し参加者への知識を深めた。

(2) 実施内容 (URL : <https://www.zenshiren.or.jp/zenshiren/pdf/jka27.pdf>)

① 障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

自然災害が増えている今、私たちが生活するなかでそむくことができないのが現状である。また障害を理由に避難所での生活が断られ車中泊や倒壊するかもしれない自宅で過ごさなければいけない。「肢体不自由児者への合理的配慮とは ～防災、減災の取り組み～」と題し、具体的にどのような対策をしたらよいのか、普段からの近所付き合い等を周知した。

(別紙5)

### 障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

指導誌「療育ハンドブック」1回発行

機関誌「いずみ」2回発行



### 指導誌「療育ハンドブック」

平成28年6月18日発行 B6版 76ページ 6000部

「肢体不自由児者の合理的配慮に基づく ～防災、減災の取り組み～」  
防災、減災の取り組みをどのようにしたらよいか具体的に書かれているものである。  
「避難所に行っても入れてもらうことが出来なかった」、「助けがないと避難することが出来ない」といったことを少しでも減らしていくために周囲に理解してもらう必要がある。事例を交え、わかりやすく解説した内容としている。

### 機関誌「いずみ」

ア 平成28年6月28日発行 A4版 32ページ 4000部

平成28年度通常総会報告として事業の概要や活動方針、平成29年度心身障害者に関する予算要望、レクリエーション開催予定表、みんなのすみか、地震に備えてできることなどを掲載。

イ 平成28年12月28日発行 A4版 32ページ 4000部

JKAの実施報告、療育キャンプ報告、平成29年度予算要望ヒアリング、児童発達支援に関するガイドライン検討事項などを掲載。

ア



いずみ No145

イ



いずみ No146

## ② 障害児者と家族、支援者の地域交流と療育訓練事業

障害児者は歩行や座位の訓練だけでなく、集団生活を経験することで社会性や社会的自立心の向上を図る。保護者には医師及び学識経験者、専門指導員等により訓練方法や生活指導を通じて、日常生活における療育や訓練方法を習得する。また障害当事者と家族、支援者(ボランティア)相互の交流・情報交換を図る。

### 療育キャンプ事業の実施

医師や学識経験者、専門指導員による訓練や指導。

(別紙5)

### 療育キャンプ (日帰り)

ア	平成28年7月23日	85名	静岡県	「静岡県立中央特別支援学校」
イ	平成28年7月31日	52名	石川県	「いしかわ総合スポーツセンター」
ウ	平成28年9月25日	117名	徳島県	「アスティとくしま」

ア



イ



ウ



### 療育キャンプ (1泊2日)

ア	平成28年7月15日～16日	37名	福岡県	「夜須高原福祉村」
イ	平成28年8月17日～18日	57名	佐賀県	「佐賀県波戸岬少年の家」
ウ	平成28年10月29日～30日	54名	滋賀県	「こんぜの里栗東 森遊館」

ア



イ



ウ



### ③ 地域の強化を図るための地域指導者育成セミナー

自然災害が多くなってきた昨今、実際に災害にあい避難生活を余儀なくされたとき障害を理由に避難所を断られることも多い。この問題はすぐに解決できる課題ではないので自分で出来る対策をしておく必要もある。事例を交え、「防災、減災の取り組み」をテーマに、講師を迎え講義を行うとともに参加者によるグループ討議を7か所で行った。

ア	平成28年6月18日～19日	29名	岩手県	「いこいの村岩手」
イ	平成28年8月20日～21日	30名	北海道	「かでの2.7」
ウ	平成28年9月24日～25日	28名	香川県	「ホテルパールガーデン」
エ	平成28年10月1日～2日	48名	茨城県	「五浦観光ホテル」
オ	平成28年11月12日～13日	27名	富山県	「とやま自遊館」
カ	平成28年11月19日～20日	33名	長崎県	「長崎温泉 やすらぎ伊王島」

(別紙5)

キ 平成28年12月10日～11日 50名 大阪府 「ビッグアイ」

ア



イ



ウ



エ



オ



カ



キ



(別紙5)

## 2 予想される事業実施効果

### ① 障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

障害者施策だけでなく、行政や企業、大学で研究、開発されている技術や医療の進歩は目覚ましく、情報の収集スキルの違いで障害児者やその家族に格差が生じる懸念がある。障害者とその家族の高齢化は進んでおりパソコンスキルが高い人は少ない。また情報誌はいつでも何処にでも持ち運びができ、手元で内容を確認できることからニーズは高い。今後も、パソコンスキルなどによって生じる情報格差を埋めるために、最新の福祉施策や様々な情報を誰にでも分かりやすい内容で、継続的に提供する「冊子」スタイルのツールとして活用し、障害者福祉の知識の向上を図る。その結果、情報格差解消につながり、中央・地方行政の動きや各支部の活動状況等の情報を共有することで地域活動の活性化に寄与することができる。

### ② 障害児者と家族支援者の地域交流と療育訓練事業

障害児者は、ボランティアとの交流や、年齢、生活習慣の違う様々な障害児者が集い、一緒に生活することで社会性、自立心向上に繋がっている。

保護者は、日常生活における療育方法、肢体不自由児者に対する負担の少ない介護方法を習得することができた。地元での会議や勉強会でキャンプに参加できなかった方々に報告することで介護負担の軽減を周知でき、地域活性化に繋げていく。

ボランティア、特に福祉を学ぶ学生には、実践教育の場でもあり支援者の育成に繋がり、また、事業の継続が支援者の拡大、啓蒙活動に繋がっている。

### ③ 地域の強化を図るための地域指導者育成セミナー〈1泊2日〉

日本では自然災害が多く特に地震が多い。「防災、減災の取り組み」をテーマに講演することにより災害に対する意識、取り組み等を把握することができ現状がわかる。また同じような状況にいる人達とグループ討議を行なうことによって他の人たちがどのようなことに工夫しているかを知ることができる。肢体不自由や重症心身障害の人達に対する具体的な防災、減災についての例をとりあげ講演会を実施するとともに、セミナーを通して参加者への防災、減災の意識や知識を深めることに繋がっている。

## 3 補助事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

(<https://www.zenshiren.or.jp/zenshiren/pdf/jka27.pdf>)

#### 障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

指導誌「療育ハンドブック」1回発行

機関誌「いずみ」2回発行



(別紙5)

**指導誌「療育ハンドブック」**

平成28年6月18日発行 B6版 76ページ 6000部

「肢体不自由児者の合理的配慮に基づく ～防災、減災の取り組み～」  
防災、減災の取り組みをどのようにしたらよいのか具体的に書かれているものである。  
「避難所に行っても入れてもらうことが出来なかった」、「助けがないと避難することが出来ない」といったことを少しでも減らしていくために周囲に理解してもらう必要がある。事例を交え、わかりやすく解説した内容としている。

**機関誌「いずみ」**

ア 平成28年6月28日発行 A4版 32ページ 4000部

平成28年度通常総会報告として事業の概要や活動方針、平成29年度心身障害者に関する予算要望、レクリエーション開催予定表、みんなのすみか、地震に備えてできることなどを掲載。

イ 平成28年12月28日発行 A4版 32ページ 4000部

JKAの実施報告、療育キャンプ報告、平成29年度予算要望ヒアリング、児童発達支援に関するガイドライン検討事項などを掲載。

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会  
(ゼンコクシタイフジユウジシャフボノカイレンゴウカイ)

住所： 〒171-0021  
東京都豊島区西池袋4-3-12

代表者： 会長 清水 誠一 (シミズ セイイチ)

担当部署： 事務局

担当者名： 高津 美帆 (タカツ ミホ)

電話番号： 03-3971-3666

F A X： 03-3982-2913

E - m a i l： web-info@zenshiren.or.jp

U R L： <http://www.zenshiren.or.jp>